

第2期

倶知安町まち・ひと・しごと創生

総 合 戦 略

令和 2 (2020) 年 3 月

令和 4 (2022) 年 6 月改訂



倶知安町

目 次

I 第2期 俱知安町まち・ひと・しごと創生	
総合戦略策定にあたって	1
1 策定の趣旨.....	1
2 第1期 総合戦略の検証.....	2
3 総合戦略の位置づけ.....	3
4 計画期間.....	3
5 持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた施策の推進.....	3
II 基本的な考え方	4
1 人口ビジョンが目指す目標人口.....	4
2 基本目標.....	5
3 基本目標と目標達成に向けた施策の設定.....	6
III 具体的な施策	7
施策パッケージ① 子育て・子育て環境の整備.....	7
施策パッケージ② 安定した雇用の確保.....	10
施策パッケージ③ 人口流出の抑制と地元定着.....	12
施策パッケージ④ 人の流れとにぎわいの創出.....	15
IV 総合戦略の推進管理	18
1 PDCAサイクルの確立.....	18
2 地域間の連携推進.....	18
3 外部有識者の参画と施策の進捗管理.....	19
参考 持続可能な開発目標（SDGs）の詳細.....	20

I

第2期 倶知安町まち・ひと・しごと創生
総合戦略策定にあたって

I 策定の趣旨

我が国の総人口は、2008年をピークに減少局面に入っており、出生率の低下によって引き起こされる人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として、2014(平成26)年9月にまち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)が制定されました。

同年12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び第1期(2015年度～2019年度)の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、国のこうした枠組やまち・ひと・しごと創生法の趣旨を踏まえ、少子高齢化対策と人口減少という危機感を共有しながら、倶知安町においても2016(平成28)年2月に「倶知安町人口ビジョン」及び第1期の「倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2015年度～2019年度)を策定し、取組を進めてきました。

倶知安町の国勢調査における人口推移では、人口のピークは1965(昭和40)年の19,738人で、以降1985(昭和60)年には18,892人、2005(平成17)年には16,176人、2015(平成27)年には15,018人と人口減少が続いており、今後もその傾向が続くことが予想されています。

しかしながら、冬季の外国籍住民数は、2005(平成17)年12月末に152人だったのに対し、2015(平成27)年12月末には1,045人、2020(令和2)年1月末には2,602人と大幅に増加しています。

外国人観光客が多く訪れる国際リゾートを抱え、2030(令和12)年度末には、北海道新幹線・倶知安駅の開業、高速道路の開通などにより、本町は大きな転換点を迎えます。交流人口が増加し、様々な文化や価値観を持った人との交流が生まれ、住民の生活は今まで以上に多様性を持つことになります。

これらをしっかりと捉えるとともに、2019(令和元)年12月に策定された国の第2期総合戦略の基本的な考え方により、人口減少の抑制と倶知安町の創生に向けた取組を計画的に推進するため、「第2期 倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

2 第1期 総合戦略の検証

倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、2つの基本目標を設定し、取組を進めてきました。

第1期 倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略

- 基本目標1 くっちゃんで、過ごす
 「世界に誇れる国際リゾート」
 「多くの外国人が訪れる多文化共生のまち」
 【数値目標】 観光入込客数 170万人（2019年度）
 外国人観光客宿泊延数 35万人（2019年度）
- 基本目標2 くっちゃんで、暮らす
 「子どもたちの笑い声が響き、住む人、働く人の笑顔が輝くまち」
 「帰って来たくなるまち」
 「住みたくなるリゾート（まち）」
 【数値目標】 人口 16,068人（R2 国勢調査人口）

総合戦略におけるこれまでの取組を全体として見た場合には、各事業に取り組んだことで、ある程度の成果が出ているものと考えられます。

基本目標1の数値目標である観光客入込数は、2014年度には154万人であったのに対し、2018年度には165万人、2019年度上期は前年度比1.3%増、外国人観光客宿泊延数は、2014年度には29万人だったのに対し、2018年度には46万人、2019年度上期は前年度比9.2%減となっています。

課題である冬季に観光客が集中する状況は改善されておらず、サービスの質の向上のためにも通年型観光を目指し、夏季の継続的誘客や新規コンテンツの掘り起こしなど、閑散期底上げの戦略的な対策を進める必要があります。

また、外国人観光客や外国籍住民の受入体制は整いつつありますが、外国人との共生に向けた具体的な施策や倶知安らしい取組の検討を行う必要があります。

基本目標2の数値目標である2020年国勢調査人口の16,068人については、2019年9月末時点の住民基本台帳人口が15,110人であることから、目標の達成は厳しい状況にあります。

この間の人口動態を見ると、2015年度から2018年度の夏季間の住民基本台帳人口は15,300人台で推移していましたが、2019年度の夏季間は15,100人台に減少しました。反対に、冬季間の住民基本台帳人口は、2015年12月末には16,052人だったのに対し、2019年12月末には16,886人となり、外国籍住民の割合が約15%と上昇傾向にあります。20代から30代の若い世代の転入が多く、出生数もほぼ横ばいで推移していますが、札幌市や近隣町村への転出超過が見られることから、近年の地価・賃貸住宅の家賃高騰による住宅事情の悪化への対策や、若い世帯の子育て・子育て環境の整備・支援策を進める必要があります。

3 総合戦略の位置づけ

倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条第1項に規定する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」としての位置づけであり、倶知安町人口ビジョンの策定を通じて把握・整理した本町の課題解消に向け、人口減少の抑制と地方の創生に重点をおいて策定します。

2020（令和2）年度から計画期間が始まる第6次倶知安町総合計画は、本町のまちづくり全般に関わる総合的な最上位計画であり、総合戦略と密接な関係があることから、第6次倶知安町総合計画と整合性を取りつつ、倶知安町人口ビジョンにおいて定める将来人口を目標に、人口減少の緩和・地方創生の実現に特化した施策を推進していきます。

4 計画期間

倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間は、国や北海道の総合戦略と一体的に推進するため、2020(令和2)年度から2024(令和6)年度までの5年間とします。

第6次倶知安町総合計画は、2020(令和2)年度から2031(令和13)年度までの12年間です。

5 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた施策の推進

第6次倶知安町総合計画の基本構想では、「先人が創りあげてきた本町をさらに発展させ、この町に生活する全ての人々が、”この町に住んで良かった”と感じ、夢をもって住み続けられる「ふるさと倶知安」に向けて策定するもの」と提起しています。

全ての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題に統合的に取り組むというSDGsの理念は、この第6次倶知安町総合計画の基本構想と共通するものであり、本総合戦略による取組を推進するに当たっても、地方創生の取組の一層の充実と深化につながるようSDGsの理念に沿って進めていきます。

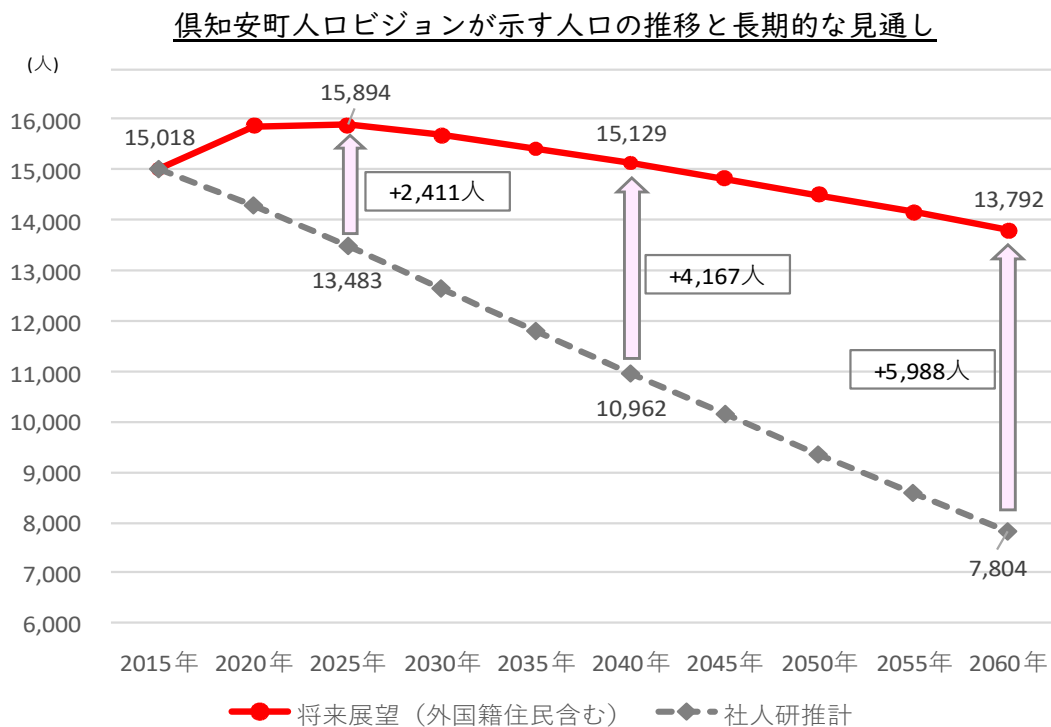


Ⅱ 基本的な考え方

Ⅰ 人口ビジョンが目指す目標人口

人口減少の抑制と倶知安町の創生に向けた施策は、倶知安町人口ビジョン及び国の基本目標・北海道の基本戦略を勘案し、倶知安町の実情に合わせた目標設定をする必要があります。

倶知安町人口ビジョンでは、国の長期ビジョンと北海道の総合戦略を踏まえた人口減少の緩和を目指す取組や、今後想定される外部要因の変化等を考慮し、2040年時点で15,129人、2060年時点で13,792人と推計しています。



出生率の仮定

2040年までに合計特殊出生率2.07（人口置換水準程度）まで上昇

- ・長期的には、人口の自然増が重要であるという観点を重視
- ・人口の社会増のみを追求した場合は、国全体の人口の増加には繋がらない

社会移動の仮定

社人研推計の純移動率を踏まえて設定

- ・期末年齢20～24歳の男女、25～29歳の男女、30～34歳の男性の純移動率をプラスに設定

2 基本目標

第6次俱知安町総合計画は、第1期の俱知安町総合戦略の計画期間中だった2017年度から策定作業が進められ、人口減少社会を迎え、本町の恒久的な持続を目的とした第1期総合戦略との整合性を図ることが必要であるとの考えで策定されました。

総合計画のまちづくりの基本目標は、まさに”目指す町の姿（将来像）”を実現するためのものであり、次のとおり第6次俱知安町総合計画の基本目標を、本総合戦略の基本目標とします。

基本目標1 くっちゃんて暮らす幸せを感じる

【数値目標】 2025(令和7)年 国勢調査人口 15,894人

基本的方向

俱知安町の自然豊かで外国人が多く暮らす多文化共生の国際リゾート地という特色を活かして、人種や世代を超えた多くの人々が『大好きなこの町、俱知安町でずっと暮らしたい』と思えるような、さまざまな生活環境づくりを展開し、住民の福祉増進を図ります。

- ・安心して子育て子育てができるまちにする
- ・誰もが長く働き続けられるまちにする
- ・帰ってきたくなる故郷（まち）にする
- ・住みたくなる都市（まち）にする

（総合計画における
個別目標）

基本目標2 くっちゃんて交流する幸せを感じる

【数値目標】 2024(令和6)年 観光客入込数の増加 177万人
観光客宿泊延数の増加 144万人泊
繁閑差率の向上 0.475

基本的方向

俱知安町は、外国人観光客の増加や海外投資によるホテル、コンドミニアムなどの建設によって、世界有数の国際リゾート地へと発展を続けています。この特色を活かし、観光客を中心とした交流人口を増加させるほか、住民と世界から訪れる外国人、外国籍住民がお互いの文化や習慣を理解し合いながら共生し、多様性に対応する魅力あるまちづくりを展開していきます。

- ・交流エリアとしての質を高める
- ・交流タウンとしての魅力を高める
- ・交流タウンとして多文化共生を実現する

（総合計画における
個別目標）

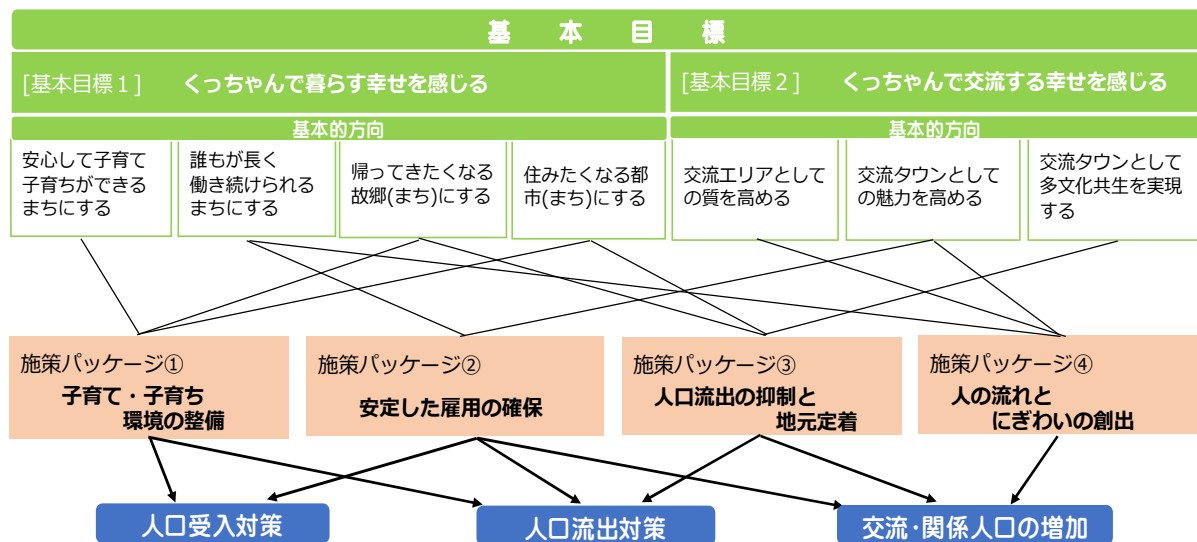
3 基本目標と目標達成に向けた施策の設定

本総合戦略では、人口ビジョンや第1期総合戦略の検証・課題を踏まえ、「人口流出対策」「人口受入対策」「交流・関係人口の増加」につながる4つの施策パッケージを設定して取り組みます。

4つの施策パッケージは、第6次倶知安町総合計画における取組を進めていく中で、基本目標及び本総合戦略で基本的方向とする個別目標の枠を横断した複数の施策を組み合わせ設定します。

また、国の第2期総合戦略において追加された「横断的な目標」を踏まえ、人口減少の緩和と倶知安町の創生に特化したものとし、課題を明確にし、実効性を確保していきます。

【総合戦略 体系図】



◆ 施策パッケージ① 子育て・子育て環境の整備

安心して子育て子育てができる環境を整えることで、若い世代の転出の抑制と転入の増加を目指します。

◆ 施策パッケージ② 安定した雇用の確保

安定した雇用を確保することで、季節雇用による転出の抑制と、地場産業の強化や働きやすい地域づくりによる人材受入により、転入と交流・関係人口の増加を目指します。

◆ 施策パッケージ③ 人口流出の抑制と地元定着

地元定着の促進を図ることで、住環境等の理由による転出の抑制と、外国籍住民を含む多様な人々との協働によるまちづくりで関係人口の増加を目指します。

◆ 施策パッケージ④ 人の流れとにぎわいの創出

人の流れとにぎわいを創出することで、観光地としての質と魅力を向上させ、交流・関係人口の増加を目指します。

Ⅲ 具体的な施策

施策パッケージ①

子育て・子育て環境の整備

第2期俱知安町子どもプランに基づく妊娠、出産、子育て子育ての切れ目ない支援、自然・国際色豊かな環境を活かした教育、住環境づくりや生活しやすい環境づくりで、子どもを産みたい、育てたいと思える環境整備を行います。



①-1 出産・育児・子育て子育て

少子化が進むなか、町・家庭・保育所・認定こども園・病院・地域住民などが協力して、社会全体で出産・育児・子育てを支援していきます。

主要施策

- 多様な保育ニーズへの対応
- 官民連携による保育力の確保の検討
- 地域で育てる子育て環境の整備

👉 具体的には…

- ・（仮称）くっちゃん子条例の制定
- new★**・私立認定こども園と連携した保育士不足の解消（奨学金返済・住宅家賃助成、潜在保育士の掘り起こし、採用募集時期の前倒し等）
- ・民間企業の託児力・保育力の強化を支援
- ・地域子育て支援センター、絵本館運営事業、世代間交流、地域組織活動等の充実 など



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
合計特殊出生率の維持	1.62	1.62を維持
0～5歳児までの待機児童ゼロの達成と継続	29人	0人
一時預かり保育の実施	未実施	完全実施 (R5年度までに)
延長保育、日曜・祝日保育の実施	未実施	完全実施 (R5年度までに)

①-2 教 育

学校教育では、「社会を生き抜く力」の育成のため、時代に適応した教育の充実や環境の整備に取り組みます。また、本町の国際色豊かな地域性を活かし、「子ども達の未来を拓く英語教育」の実現に向けて、英語教育の充実に取り組みます。

社会教育では、羊蹄山やニセコ連峰、尻別川など郷土が誇る大自然の中で、文化・スポーツなどの様々な体験活動を通じて、「知・徳・体」の成長、「豊かな心」「生きる力」の育成に努め、子どもたちの郷土愛を育み、子育ての環境づくりに努めます。

また、町内に2校ある道立高等学校で子どもたちが活躍できるよう、各関係機関と連携を図りながら地域の特色を活かした高校づくり、魅力ある高校づくりに向けた支援に努めます。

主要施策

- 0歳から18歳までの一貫した教育
- 特色を活かした英語教育の検討
- 地域の特性を活かした教育の取組
- 絵本館の施設老朽化対策の検討

 具体的には…

- new★**・学校評議員制度の推進とコミュニティスクール設置の検討
- ・イングリッシュキャンプ、小中高の英語連携事業
- ・小学校英語教育事業（町費専科教員の配置）
- ・ワンダーキッズ、子育て講座の開催
- new★**・道立高校の存続等や入学者の確保に関する取組への支援など

イングリッシュキャンプ



ワンダーキッズ



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
卒業時点で英語検定3級相当以上を取得または英語検定3級相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	45.6%	52.8%
ワンダーキッズ参加者(年間)の増加	20人	23人
絵本館利用者数(年間)の増加	16,825人	17,143人
子育て講座受講者数の増加	30組	35組
俱知安農業高等学校入学者数	16人 (令和4年度)	20人 (令和5年度以降)

①-3 建設・防犯・交通安全

子どもの健全な育成及び憩いの場の提供として、若い世帯や子育て世帯向け住宅の供給を目指して、様々な関係団体と連携した取り組みを進めるとともに、広く住民に親しまれる公園づくりのため、施設の整備、日常の管理に努めます。

子どもの生活の安全を守るため、雪に強い生活環境づくりや、事故や犯罪の未然防止に取り組みます。

主要施策

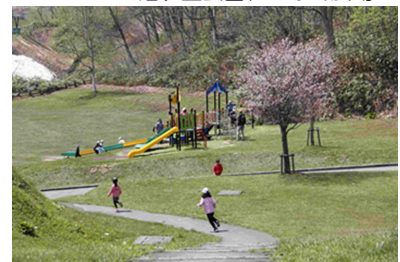
- 官民連携による多様な住宅・住宅地の整備
- しりべし空き家 BANK を活用した空き家の利活用促進
- 安心して過ごせる生活環境への取組
- 交通安全対策



具体的には…

- ・ くっちゃん型住宅建設費助成制度の推進
- new★**・ 地域優良賃貸住宅制度等を活用した子育て世帯向け住宅の整備
- ・ 都市公園や尻別川リバーパークなどの整備、維持管理
- ・ 効率的かつ迅速な車道及び歩道の除排雪
- new★**・ 関係団体と連携した外国人ドライバー向けの交通安全啓発（飲酒運転防止PR、冬季間の安全運転講習の実施）
- ・ 多言語標識の設置要望の継続 など

旭ヶ丘公園わんぱく広場



排雪作業の様子



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
町道の除雪出動基準の維持	降雪 10cm	降雪 10cm
事件事故件数(年間)の減少	93件／年間	83件／年間

施策パッケージ②

安定した雇用の確保

全国的、全業種にわたる人手不足の問題は、本町においても深刻な状況にあり、基幹産業である農業をはじめとして、色々な地域から来た人材が働ける場所づくり、進学や就職で一度は本町を離れた子ども達が帰ってきたくするような環境づくりを行います。



②-1 産業（農業）

地場産業の強化と農作物の加工・販売を促進するため、消費者の求める安心・安全な農作物を安定的に供給するとともに、効率的な農地の利用、雇用労働力及び担い手の確保を図ります。

主要施策

- 地場産農作物の加工、販売の取組の推進
- ICT 農業、省力化技術の普及推進



具体的には…

- ・新規就農者サポート事業の強化
- ・法人化を目指す農家等の支援
- ・農作物のブランド化への取組支援
- new★・作業平準化への取組検討 など



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
俱知安産農産物を使用した商品数の増加	18個	23個
6次産業化の取組件数の増加	3件	5件
農業新規参入者数(累計)の増加	2人	5人
農業法人数の増加	19法人	22法人

②-2 雇用・人材育成

人手不足を解消するため、通年での職場確保と受入体制の整備を図ります。

観光人材の確保と継続的な育成は、観光の持続的な振興を図るうえで必要不可欠な要素であり、観光関連産業に従事する人々が働きやすい地域づくりと人材育成を進めます。

主要施策

- 年間を通じての職場の確保のための支援
- 技能・労働団体と連携した資格取得支援
- U I J ターンによる国内人材の誘致
- 外国人労働者の受入対策の検討



具体的には・・・

- ・ 羊蹄山麓季節労働者通年雇用促進協議会資格取得支援事業の拡充
- ・ 技能者人材育成事業の促進
- ・ しりべしまち・ひと・しごとマッチングプランとの連携
- ・ ShiriBeshi 留学への協力 など

技能講習



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
季節雇用からの通年雇用化数(累計)の増加	5人	25人
倶知安町技能者人材育成事業補助金交付件数(年間)の増加	1件	5件

施策パッケージ③

人口流出の抑制と地元定着

雪の多さ、転勤族の多さ、交流人口の多さ、外国籍住民の多さなど、他にはない特徴を持つ当町において、どの世代の誰もが安心して生活し、愛着を持てる町を目指して、町民一人ひとりの人権を尊重するとともに、本町の多様性への対応、多文化共生の実現、高校生を始めとする多様な人々との協働によるまちづくりを行い、地元定着の促進を図ります。



③-1 定住対策・住宅需要への対応

倶知安らしい魅力を備えた住生活のため、町遊休地の利活用も含め、生活の基盤となる住宅を整備し、若い世代、子育て世代、高齢者世代の誰もが安心して生活できる住宅施策に努めます。

主要施策

- 官民連携による多様な住宅・住宅地の整備（再掲）
- しりべし空き家BANKを活用した空き家の利活用促進（再掲）
- 高齢者住み替え制度の活用促進
- 長期展望による町営住宅の適切な維持管理



具体的には…

・くっちゃん型住宅建設費助成制度の推進（再掲）

new★・地域優良賃貸住宅制度等を活用した高齢者世帯・子育て世帯向け住宅の整備 など

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
(ネット・プロモーター・スコア (NPS) 調査) 町民の住みやすさ満足度	未実施	30%
くっちゃん型住宅建設費助成制度の利用者数 (累計) の増加 (転入枠)	2件	11件
住み替え制度利用件数 (累計) の増加	0件	7件

③-2 協働によるまちづくり

今後さらなる交流人口の増加が見込まれる本町では、様々な文化や価値観をもった人々との交流が生まれ、住民の生活は今まで以上に多様性を持つことになります。外国籍住民を含めた多様な人々への対応、多様な人々との協働によるまちづくりに取り組みます。また、これからのまちづくりの一翼を担うことが期待される高校生の若い発想力と行動力で、様々な場面で活躍できる機会をつくれます。

主要施策

- 町内会と行政が協働して行う
地域コミュニティの構築の促進
- 自治会等への加入促進対策
- 高校生が活躍するまちづくりの
推進

👉 具体的には…

- new★**・自治会等への加入促進チラシの作成
(日本語・英語版)
- ・高等学校の取組支援(商品開発やボランティア活動) など

高校生まちづくりワークショップ



農高のおみせ



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
高校生のまちづくり参加機会(年間)の増加	4件	6件
まちトークの参加者数(年間)の増加	118人	124人

③-3 豪雪への対応

雪に強い快適な生活環境づくりを進めます。

主要施策

- 克雪・利雪・親雪の推進
- 高齢者、障がい者への除雪支援



具体的には…

- ・ 国や北海道と連携した効率的かつ迅速な車道及び歩道の除排雪
- ・ くっちゃん型住宅建設費助成制度
- ・ 除雪ヘルパー委託事業 など

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
町道の除雪出動基準の維持(再掲)	降雪 10cm	降雪 10cm

③-4 多文化共生のまちづくり

国際色豊かな町の特性を活かし、住民が国際感覚を養うことや、外国人観光客や外国籍住民が必要とする情報を得やすい環境や日本語を学べる環境を整備し、本町に暮らす全ての人が互いの文化や習慣の違いを理解し、認め合う多文化共生のまちを目指した取組に努めます。

主要施策

- 必要とする情報を得やすい環境の整備
- 文化の相互理解を深めるための国際交流の促進
- グローバル人材の育成



具体的には…

- new★** ・ やさしい日本語研修の実施
- ・ 町民英語研修の実施
 - ・ 生活ガイドブックの多言語化
 - ・ サンモリッツとの学生交流
 - ・ サンモリッツへの町民・職員研修 など

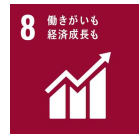


重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
外国籍住民の住みやすさ満足度の上昇	76.5%	78.3%以上
近所に住む外国籍住民へ親しみ感の上昇 「感じる・どちらかというと感じる」と回答	29.9%	45%以上

施策パッケージ④

人の流れとにぎわいの創出

新幹線駅開業や高速道路開通を見越し、様々な分野で活発な動きがあるなか、昔からの商店街では小売店舗の閉店が増えるなど、課題も多い本町において、商工業を支援することで町のにぎわいと活力を創出し、また、観光地としての質と魅力を向上させることで、人の流れを呼び込み、持続可能な観光地づくりを目指します。



④-1 産業（商工業）

官民パートナーシップによって、起業支援、若手経営者の育成など、町の賑わいと活力を創出する商工業の支援を充実します。

主要施策

- 中心商店街活性化に向けた取組の推進
- 企業・雇用に対する支援

👉 具体的には…

・商店街空き店舗活用事業補助及びエリアの検討

new★・町、商工会議所、金融機関等が連携して、起業から廃業までを支援する窓口創設の検討 など



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
町内の空き店舗数の減少	20店舗	11店舗
まちなか歩行者(平日1日)の増加	570人	785人

④-2 域内交通

ニセコエリアの弱みとなっている域内交通の不便さを解消するため、域内交通の再構築、深刻な運転手不足の解消、利用者の利便性の向上に努めます。

主要施策

- 域内交通の再構築及び夏季間の空港とのアクセス改善に向けた支援と取組
- 運転手不足の解消
- 利便性の向上と公共交通の利用促進

 具体的には…

- new★**・ひらふ地区の交通混雑緩和に向けた従業員等送迎バスの実証運行
・羊蹄山麓季節労働者通年雇用促進協議会の事業を利用したバス・タクシーの運転手の資格取得支援
- new★**・地域のバス路線の停留所の統一 など

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
地域内の路線バスのキャッシュレスの増加	0台	5台
域内交通満足度の上昇	未実施	80%

④-3 防犯・防災・山岳事故防止

安全・安心こそがリゾート地の基本であるということから、防犯や防災、山岳事故対策など国内外からの観光客が不安な思いや心配をせずに余暇を楽しむことができるリゾート環境をつくります。

主要施策

- 交通安全対策
- 「ニセコルール」の恒久的な維持継続のための体制強化

 具体的には・・・

- new★**・関係団体と連携した外国人ドライバー向けの交通安全啓発（再掲）（飲酒運転防止 PR、冬季間の安全運転講習の実施）
- ・多言語標識の設置要望の継続（再掲）
- ・なだれ・山岳事故防止対策、羊蹄山管理保全事業、ニセコ山系管理保全事業、ひらふ安全センター運営事業の継続 など

重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
外国人の交通事故件数(年間)の減少	268件	201件

④-4 観光

ニセコ観光圏、地域連携DMO等と連携して、ニセコエリアの観光振興、観光課題の解決に広域的に取り組み、広域的な連携による通年型観光の実現を目指します。

冬季と夏季の繁閑差の解消のため、町の特性を活かした戦略的な施策を実施するとともに、持続可能なリゾート地として適正な受入規模の見極め、景観地区の運用などにより、工作物や開発行為に対する制限の必要性について検討します。

主要施策

- 宿泊税を活用した観光課題の解決
- 冬季と夏季の繁閑差解消のための取組
- ニセコスタイルMICEの誘致・PR
- 景観行政団体への移行

ニセコ HANAZONO ヒルクライム



👉 具体的には…

- ・ 地域連携DMO等と連携した取組の継続
- new★**・ ファミリー層をターゲットとしたワーケーション事業の推進
- ・ 夏季ロングステイ事業の継続
- ・ スポーツツーリズム、サイクルツーリズムの推進
- new★**・ 日本版持続可能な観光指標（仮称）への取組 など



重要業績評価指数 (KPI)	現状値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)
(ネット・プロモーター・スコア (NPS) 調査) 紹介意向度	未実施	70%

Ⅳ 総合戦略の推進管理

Ⅰ PDCAサイクルの確立

まち・ひと・しごと創生を実現するためには、従来の政策の反省の上に立ち、PDCAサイクルを確立することが必要です。

具体的には、まず、効果的な総合戦略を策定し、着実に実施していくとともに、設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のプロセスを実行していくことになります。

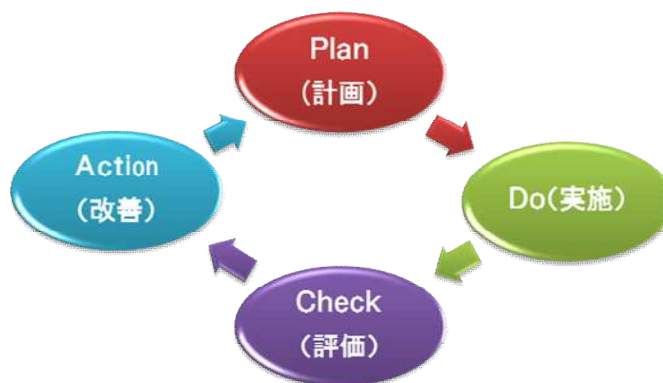
総合戦略に掲げる施策の進捗度を客観的に把握するため、施策パッケージごとに課題や実情に応じたKPI（重要業績評価指標）を設定し、施策の効果を検証するとともに、課題を整理し、効果的かつ効率的に施策の見直しを実施していきます。

KPI(Key Performance Indicators / 重要業績評価指標)

- ・ 目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと。

PDCAサイクル

- ・ 計画(plan)→実行(do)→評価(check)→改善(act)という4段階の活動をくり返し行なうことで、継続的に業務プロセスを改善していく手法。



2 地域間の連携推進

倶知安町では、観光分野をはじめ、地域間の広域連携を積極的に進めることとし、ニセコひらふエリア一体として課題に取り組んでいるところですが、総合戦略においても、各施策の推進にあたっては、町内外の関係機関等（企業、団体、学校等）との連携を積極的に進めるとともに、広域的な課題をはじめ、観光、移住、企業誘致など広域的な取組により大きな効果が期待される施策については、周辺町村や北海道等と連携し、進めていきます。

3 外部有識者の参画と施策の進捗管理

「倶知安町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たっては、倶知安町役場内に組織された「倶知安町まち・ひと・しごと創生推進本部会議」に加え、行政・産業界・大学・金融機関・労働団体・マスコミの代表と住民代表（産官学金労言）からなる「倶知安町まち・ひと・しごと創生有識者会議」を設置し、ともに総合戦略策定を進めてきました。

総合戦略の実施に当たっては産官学金労言が連携し効果的な施策が実施されるように、PDCAサイクルに基づく効果検証を行うことが重要です。

引き続き評価・検証・改善等の進捗管理について、「倶知安町まち・ひと・しごと創生推進本部会議」と「倶知安町まち・ひと・しごと創生有識者会議」が連携し、必要に応じて施策・事業の見直しや総合戦略の改訂を行い、総合戦略の目標達成に向けた効果的な取り組みを推進します。

参考

持続可能な開発目標（SDGs）の詳細



目標1〔貧困〕

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。



目標2〔飢餓〕

飢餓に終わらせ、食糧安定保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



目標3〔保健〕

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



目標4〔教育〕

すべての人々への包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。



目標5〔ジェンダー〕

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女子のエンパワーメントを行う。



目標6〔水・衛生〕

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



目標7〔エネルギー〕

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを確保する。



目標8〔経済成長と雇用〕

包括的かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク（適切な雇用）を促進する。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	目標9 [インフラ、産業化、イノベーション] レジリエントなインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進、およびイノベーションの拡大を図る。
10 人や国の不平等をなくそう 	目標10 [不平等] 各国内および国家間の不平等を是正する。
11 住み続けられるまちづくりを 	目標11 [持続可能な都市] 包括的で安全かつレジリエントで持続可能な都市および人間居住を実現する。
12 つくる責任 つかう責任 	目標12 [持続可能な消費と生産] 持続可能な生産消費形態を確保する。
13 気候変動に具体的な対策を 	目標13 [気候変動] 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
14 海の豊かさを守ろう 	目標14 [海洋資源] 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する。
15 陸の豊かさを守ろう 	目標15 [陸上資源] 陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、ならびに土地劣化の阻止・防止および生物多様性の損失の阻止を促進する。
16 平和と公正をすべての人に 	目標16 [平和] 持続可能な開発のための平和で包括的な社会の促進、すべての人々への司法へのアクセス提供、およびあらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度の構築を図る。
17 パートナリシップで目標を達成しよう 	目標17 [実施手段] 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

第2期倶知安町まち・ひと・しごと創生
総 合 戦 略

発行年月：令和2（2020）年3月

改訂：令和4（2022）年6月

発 行：倶知安町

編 集：倶知安町総合政策課

〒044-0001 北海道虻田郡倶知安町北1条東3丁目3番地

電話（0136）56-8001 FAX （0136）23-2044